

1. 件 名：実機材研究に関する意見交換
2. 日 時：令和5年11月15日(火)13時30分～14時30分
3. 場 所：オンライン
4. 出席者：

原子力規制庁

長官官房技術基盤グループシステム安全研究部門

皆川主任技術研究調査官

池田技術研究調査官

関西電力株式会社：3名

#### 5. 要旨

原子力規制庁（以下「規制庁」という。）は、安全研究プロジェクト「実機材料等を活用した経年劣化評価・検証に係る研究」の「電気・計装設備の健全性評価に係る研究」（令和2年度～令和6年度）において使用する目的で、関西電力株式会社（以下「関西電力」という。）から実際の原子力発電所で使用された電動弁駆動部（以下「実機材料電動弁駆動部」という。）の貸与を受けている。今回の面談では、規制庁より、令和5年度の研究における実機材料電動弁駆動部を用いた研究概要として、重大事故時を模擬した蒸気暴露試験を行っていること、当該試験の条件は国内の加圧水型原子炉の重大事故時の原子炉格納容器内の温度・圧力の解析条件を包含する条件としていること、当該試験中に弁の開閉を模擬した動作試験をしていること、試験結果は試験実施機関で分析中であること等について紹介した。関西電力からは、蒸気暴露試験条件設定の背景や使用した試験時の実機材料電動弁駆動部の状況について質問があり、規制庁からこれらに回答するとともに意見交換を行った。

#### 6. その他

資料：なし